



# MOL Charitable Trust ニュースレター

2023年3月

# 目次



1 退任する議長からのご挨拶

2 新議長よりご挨拶

3 運営委員会より一言

1. 地元運営委員のご紹介
2. 2023年の目標と提言

4 第二次助成対象プロジェクト

5 主な取り組みと出来事

1. につぼん丸 モーリシャス寄港イベント開催
2. MOLチャリタブルトラスト MBC\*出演

\*Mauritius Broadcasting Corporation



A silhouette of a person standing on a large rock with their arms raised in a gesture of triumph or achievement, set against a sunset sky. The person is positioned in the center-right of the frame, with their arms spread wide. The rock they are standing on is dark and silhouetted against the bright, colorful sky. The overall mood is one of accomplishment and reflection.

# 退任する議長からの ご挨拶



# 退任する議長からのご挨拶



山下悟郎

## 関係者の皆様

モーリシャスでの任期も終わりに近づき、達成感に満たされた気持ちで、皆様  
に最後のご挨拶を申し上げます。私が初めてモーリシャスの地に歩を刻んでより、  
2年余りの時がすぎ、多くの人々と出会い、島の隅々を訪ね歩くことで、この国の  
ことを学びました。この期間中、MOL (モーリシャス) Ltd代表として、又、MOL  
Charitable Trust議長として、それぞれの立場で、多くの方々の貴重なご協力を  
得て、素晴らしい業務に携わらせていただきました。皆さまと共に成し遂げた業績  
を大変に誇らしく思います。2021年の第4四半期に開始された、基金の最初の公募  
では、地元のNGOからの応募の数と、特にそのほとんどのプロジェクトの質の高さに  
驚かされました。

現時点で、多くのプロジェクトはそれぞれの目的を達成し、助けを必要としている  
何百人ものモーリシャスの人々に支援の手が差し伸べられています。多くの幼い  
子どもたちには教育の機会が与えられ、日々の地道な努力の積み重ねにより、  
支援は様々なコミュニティに限らず及び、この稀有な島国のラグーンと森林に  
息づく美しい生態系の保全・促進の一助となっていることを願います。

基金としての活動で特筆すべきは、これまで別々に活動していた多くのNGOや  
ステークホルダーを結集し、継続的に共同活動を行うことのできるシステムを  
構築できたことです。

私たちは、協働し、議論し、解決策を見つけ出すことで、共通の目標を達成  
することでしょう。しかしながら、MOL Charitable Trustのモーリシャスでの  
任務の達成はまだ道半ばです。私は今、信頼のおける同僚の菅野一彦氏に  
バトンを渡します。彼は、商船三井、東京本社でモーリシャス環境・社会  
貢献チームを率い、モーリシャスに関する豊富な知識を持っています。彼の  
経験とスキルによって、モーリシャスの皆様の仕事に価値をもたらし、この  
国の社会と環境に利益をもたらす新しい架け橋を築いてくれることと確信  
しています。

モーリシャスでの私たちの活動に参加して頂いた全ての方々に心から感謝  
申し上げます。皆さまの一層のご成功をお祈り致します。

Nou avek zot!

山下悟郎



Click to navigate

[退任する議長からのご挨拶](#) > [新議長よりご挨拶](#) > [運営委員会より一言](#) > [第二次助成対象プロジェクト](#) > [主な取り組みと出来事](#)



# 新議長よりご挨拶



# 新議長よりご挨拶

親愛なるモーリシャスの皆様へ

MOL Charitable Trustの新議長として、今日、皆様の前に立つことができ、光栄です。前職では、商船三井の一部門であるモーリシャス環境・社会貢献チームの責任者を務めていました。このチームは、商船三井のモーリシャスにおける活動を密接に支援するために設立されたチームです。このため、基金とそのパートナーの方々がモーリシャスで行ってきた、目を見張るような活動について理解をしております。

約3年前に開始された、モーリシャスでの挑戦的な取り組みに参加し、私は基金とそのパートナーとの相互支援と連帯のシステムの構築を目の当たりにしました。又、私の前任の山下氏と彼のチームは様々な目的のために活動するNGOを繋ぐネットワークを確立することで、素晴らしい共同事業の基礎を築くことができましたと思っています。

私はこの素晴らしい取り組みを引き継ぎ、共にモーリシャスの未来への支援に携われることを楽しみにしております。

地域のNGOプロジェクトを支援する基金の2年目は、非常に前向きに始動しました。

2023年初頭、商船三井船隊の至宝であるにっぽん丸とその乗客の方々にモーリシャスでお迎えすることができたのも幸運でした。乗客の方の中には、基金が支援するNGOを訪問し、基金と地元コミュニティとの強いつながりの構築をご覧いただくことができました。また同月、MOL Charitable Trustの第二年度の受益者が発表され、新しい年度の業務と課題の対応が始まりました。私、これらの業務にはすぐに着手し、対応していきたいと切望しています。

私はチームとしてこの取り組みを引き継ぐにあたり、まず関係者の皆さまに是非お会いしたいと考えています。ぜひ近いうちにお会いできることを楽しみにしております。

菅野一彦

MOL Charitable Trust議長

Click to navigate

[退任する議長からのご挨拶](#) > [新議長よりご挨拶](#) > [運営委員会より一言](#) > [第二次助成対象プロジェクト](#) > [主な取り組みと出来事](#)



# 新議長のご紹介

菅野一彦氏は1970年2月生まれ、慶應義塾大学で心理学を専攻。

1994年4月、ドライバルク及びタンカー輸送分野で国内第2位のナビックスラインに入社し、エネルギー輸送事業に従事、1999年4月のナビックスラインと商船三井の経営統合に伴い、1999年10月から2004年4月にかけて、商船三井の定期船事業の子会社である商船三井ジャパンに出向しました。2004年5月、ばら積み専用船部門の燃料炭グループのNo.2として着任し、長年にわたり、エネルギー輸送部門に勤務し、駐在員として中国（2010年-2013年）やシンガポール（2013年-2017年）などの海外事業所も経験してきました。2017年7月には、燃料炭事業部の燃料炭輸送船チームリーダーを経て、燃料炭・エネルギー事業部プロジェクトマネージャーに就任し、輸送に関わる代替エネルギーソリューションの開発に参画しました。

2017年から2019年にかけて、最先端の自動制御伸縮式硬質グラスファイバーセイルを使用して風力を推進力として利用できるウィンドチャレンジャードライバルク船、石炭とバイオマス燃料（木質ペレット）焚きの環境に優しいドライバルク船の建造に携わりました。

2021年7月より、環境・サステナビリティ戦略部モーリシャス環境・社会貢献チームリーダー、それに先立つ2020年9月から11月にかけては、商船三井グループを代表してモーリシャスへの調査団を率いてモーリシャスに渡航した経験もあります。2023年3月現在、彼はMOL（モーリシャス）Ltdの新しい代表と、モーリシャスにて設立された基金、MOL Charitable Trustの議長に就任しています。



Click to navigate

[退任する議長からのご挨拶](#) > 
 [新議長よりご挨拶](#) > 
 [運営委員会より一言](#) > 
 [第二次助成対象プロジェクト](#) > 
 [主な取り組みと出来事](#)



# 運営委員会より一言



# 地元運営委員のご紹介

MOL Charitable Trustは委員7名（うち3名はモーリシャス人）で運営されています。委員会の各メンバーは自発的に参加し、モーリシャスの社会的および/または環境的分野での専門知識だけでなく、人脈、社会的または環境的活動への主導的な関与の度合い、経験の豊富さ、および信条といった観点から、選抜されています。当基金のニュースレターを初めてお手に取っていただいた方のために、モーリシャスの運営委員のメンバーそれぞれを簡単にご紹介します。



マーク・ダレ氏は、2009年に共同設立したCelero Groupのエグゼクティブチェアマンです。Celeroはモーリシャス、マダガスカル、レユニオンで事業を展開する物流・海運代理店グループです。マーク氏はモーリシャス生まれですが、南アフリカの大学を卒業し、同国の海運会社でキャリアをスタートさせました。その後、パリでの大手国際物流グループでの勤務を経て、モーリシャスの複合企業グループのロジスティクス、海運、航空部門にゼネラルマネージャーとして入社しました。



ダーメン・エラヤ氏は、32年以上、モーリシャス警察に奉職し、法執行機関、刑事訴追、ヘリコプター飛行隊の電気通信専門家、警察情報運用室の管理者などさまざまな部門を経験し、その立ち上げメンバーとなった国家防災管理センター（NDRRMC）にて、警部の職位を最後に退官しました。ダーメン氏はインド空軍で電子通信工学の学位が授与され、プロジェクトマネジメントのMBAも取得しています。



ジミー・ハモン博士は現在、カトリック教育の副部長/中等教育長で、南アフリカのウェスタンケープ大学で言語学の博士号を取得しました。研究分野は言語、歴史、記憶遺産、アイデンティティ構築です。2011年から2019年まで、ジミー博士は、植民地時代から現在に至るまでの奴隷制度と年季奉公労働の遺産を調査するために2008年に政府によって設立された真実と正義委員会の190の勧告の一つである奴隷博物館の設立支援活動に携わりました。



Click to navigate

[退任する議長からのご挨拶](#) > [新議長よりご挨拶](#) > [運営委員会より一言](#) > [第二次助成対象プロジェクト](#) > [主な取り組みと出来事](#)



“

“今回の優先事項は、初年度に助成が行われた南東部地域のプロジェクトの継続を確かなものとし、又、新規プロジェクトも支援することです。”

“

“持続可能性、創造性、イノベーションの要素とともに、コミュニティに直接的に良い影響を与えるプロジェクトを選定したいと考えており、これらのプロジェクトがそれに合致することを確信しています。”

“

“また、今年はNGOが直面した問題をできるだけ早く報告し、早急に支援し、年末まで活動に着手できないということが起きぬよう、注意深く見ていきたいと思っています。”

“

“私たちは、適切な組織の統治を構築し、コミュニケーションを促進し、全ての人々が共通の目的に向けて突き進むことを可能にする効率的な政策とプロセスを提供したいと考えます。すべての人に持続的な成長の機会を提供する強固で揺るがない仕組みの構築を推進したいと考えています。”

Click to navigate

[退任する議長からのご挨拶](#) > 
 [新議長よりご挨拶](#) > 
 [運営委員会より一言](#) > 
 [第二次助成対象プロジェクト](#) > 
 [主な取り組みと出来事](#)

“

“私たちの目的は、すべての人の自立化につながる、さまざまなプロジェクトを支援することによって、恵まれない人々に救いの手を差し伸べることです。人々に力を与えることは、平和と社会、経済、環境の進歩のために不可欠なのです。”

“

“プロジェクトの実施にあたっては、それぞれのNGOが関係する、社会、環境、教育分野の支援を強化することを検討すべきである。”

“

“私たちは、各NGOと緊密に協力し、彼らのプロジェクトの完遂を支援することを楽しみにしています。私たちは、教育、食料生産、社会・環境問題に焦点を当て、今年度も、同じ分野で活動する異なるNGO間の協力を促す取り組みを推進します。この地域で成功を取り組むことができたモデルを、将来、他の地域に広めることができることを願っています。”

“

“私たちは、比較的新しく設立されたNGOや、経験豊富な管理部門を持たないNGOには特に注意深く見守ります。各プロジェクトが目的を達成し、その成果を極大化したと考え、必要に応じて対象を絞った支援を提供します。”

Click to navigate

[退任する議長からのご挨拶](#) > [新議長よりご挨拶](#) > [運営委員会より一言](#) > [第二次助成対象プロジェクト](#) > [主な取り組みと出来事](#)

# 第二次助成対象プロジェクトの決定

MOL Charitable Trustは、2022年9月に第2回目の公募を開始しました。2021/2022年の1回目の公募では、島内南東部地域で実施される26の社会・環境関係のプロジェクトに助成金を提供しました。今年度は、島のすべての地域を対象としたプロジェクトを募集対象としましたが、2021/2022年の環境・社会課題へのすべての活動に対し、継続的な発展を維持するために、今回も島内南東部の発展に寄与するプロジェクトを優先する方針としました。MOL Charitable Trustは、運営委員会とI 61 Foundationの専門性・公平性のある支援を受けて、モーリシャスでの2年目の基金による助成公募を実施し、20件のプロジェクトを選定することができました。

2023年1月15日にマヘプールで行われた式典では、選定されたNGOと覚書が締結されました。当基金前議長の山下氏によると、「2年目の助成でも、島内南東部地域での活動の継続性と持続可能性を確保するために、再び同地域で活動するプロジェクトを優先しました。前年の結果も踏まえたうえで、1年目に選定したいくつかのNGOも、再び選定されています。選定されたプロジェクトの活動分野には、環境保護、教育、スポーツ、食料自給、農業や地域社会への支援などが挙げられます。



Click to navigate

[退任する議長からのご挨拶](#) > 
 [新議長よりご挨拶](#) > 
 [運営委員会より一言](#) > 
 [第二次助成対象プロジェクト](#) > 
 [主な取り組みと出来事](#)



# 2023年 助成対象プロジェクト一覧



## Mauriwood Film Industry Artists Association

### 団体概要

島内南東部地域の映画産業の発展の可能性につながる、情熱の発揚、創造的な経済活動の活性化、雇用の創出を目的とした映画制作と関連する芸術分野の発展を推し進めているNGO。

### プロジェクト概要

当基金2021-2022年助成事業によるドキュメンタリー映画『ISLAND NATURE REBORN 1』の続編『ISLAND NATURE REBORN 2』を制作、2023年10月に「環境及び生態系保護と食料安全保障フェスティバル（マイクロ版）」で上映予定。リサイクル素材を使った映画の小道具などの展示場を開催したり、NGOネットワーク構築のためのウェブプラットフォームの制作を行います。



## Ti Rayons Soleil

### 団体概要

貧困に苦しむ女性の社会進出への支援、コミュニティの活性化、子どもの就学促進への取り組みを行うNGO団体。

### プロジェクトの概要

マエブール地区における幼稚園運営を行う団体。モンテッソーリ教材などを活用した質の高い教育と幼児期の心身の発達に適した食事を提供しています。両親等、保護者には、施設での活動を通じて家族愛の重要性の理解を促進しています。



## Mahebourg Espoir

### 団体概要

物質的、社会的、教育的、家族的、環境的貧困を緩和することに取り組み、子どもたちに識字訓練、計算能力習得、専用施設での雇用訓練を提供しています。

### プロジェクトの概要

マエブール地区の幼稚園のない地域に住む子どもたちに、スクールバスなどの交通手段を整備します。保育園では栄養価の高い食事を提供し、遠足、子どもの豊かな心を育むイベントなどを開催します。



## Biodiversity Preservation

### 団体概要

生物多様性の保全と持続可能な食料消費と生産の形態を通し、食料需給システムの回復を方針として取り組んでいます。

### プロジェクトの概要

当基金2021-2022年の助成プロジェクトであった、学生の環境意識啓発のための「エコリテラシーツールキット」の開発を行う対象学校の拡大を継続して行います。又、若者向けワークショップの開催に加え、CO2排出量計算機的设计、学生や教職員が利用できる電子図書館の創設も進めていきます。



Click to navigate

退任する議長からのご挨拶 > 新議長よりご挨拶 > 運営委員会より一言 > **第二次助成対象プロジェクト** > 主な取り組みと出来事



Pg 13

# 2023年 助成対象プロジェクト一覧



## Eco-Sud

### 団体概要

モーリシャスの環境と生物多様性を守ること、自然生態系を保護し、食料自給を促進するための農業生態系システムを開発することにより、経済・社会・環境の同時発展を目指すことを使命とし、活動している団体です。

### プロジェクト概要

島内南東部の貧困の緩和を目指し、貧困世帯に最大半年間、ソーシャルワーカーを派遣し、心理学的支援や食事の提供を低価格で行います。レジリエント・オーガニック・コミュニティ・センター (Resilient Organic Community Center) では食料自給率と食品安全性を向上させるための農法や準備方法についての農業研修訓練を実施します。



## Loreto College Bambous Virieux

### 団体概要

教育と、品位のある、幸せな個人へと成長する潜在的な資質を養成することを通じて、若者と成人に活力を与え、より良い世界の構築を目指しています。

### プロジェクト概要

保護者の負担軽減を目指す学校・生徒向けコミュニケーションソフトの開発、生徒宅へのソーシャルワーカーの派遣、住民向けコミュニケーションルームの開設などを行います。また、キャンパスの緑化とゴミの分別を強化する予定です。



## Action Familiale

### 団体概要

家庭生活の調和のとれた安定を促進するために、親と子供のためのカウンセリングセッションやその他のプログラムを提供する組織。

### プロジェクト概要

家庭内のトラブルを防ぐため、対象者に小まめに連絡を取ることや、識字能力と適切な生活習慣の必要性を伝えるなどのプログラムを提供します。他のNGOと連携し、幅広い活動を推進します。



## Bonheur Associé aux enfants (B.A.E)

### 団体概要

すべての子どもに平等な機会を与えることを使命として、子どもたちが楽しく学校に通い、日常生活を送ることを支援しています。

### プロジェクト概要

恵まれない立場にある子供たちを支援するため、毎日の給食や、学校教材を提供するといった教育支援を行います。各家庭のニーズに沿った子育て相談会を実施し、親としての意識を高めます。また、その他のNGOと協力し、定期的に家庭に食材を提供します。



Click to navigate

退任する議長からのご挨拶 > 新議長よりご挨拶 > 運営委員会より一言 > **第二次助成対象プロジェクト** > 主な取り組みと出来事



# 2023年 助成対象プロジェクト一覧



## Bâtisseurs de Paix

### 団体概要

社会的に不利な状況にある人々、主にサンティール近郊に住む人々を支援することを目的とした NGO 団体。

### プロジェクト概要

地域の学校の教室を拡大し、子どもの教育を充実させます。アップサイクル・リサイクルのエコショップを設立し、雇用創出を目指します。環境保全活動の普及啓発を目的としたワークショップを開催します。

## Eastern Welfare Association for Disabled

### 団体概要

障がいを持つ方々が社会において平等な権利を有し、公平に、質の高い教育を受けることを確かなものとするため、すべての世代に生涯学習の機会を提供し、重度障害者の生活の質を向上させるために適切なリハビリテーションと医療相談を提供する組織です。

### プロジェクト概要

障がいを持つ方々の経済的な自立を支援することを目的に、農業、工芸、情報通信技術の訓練を提供する。また、受益者が研修終了後、それぞれに適した職種を選択するためのキャリア形成の促進にも役立つものとなります。トレーナーに加えて、医師、職業療法士、心理学者と協力して、心身の健康的な成長を目指しています。

## Sov Lanatir

### 団体概要

18歳から27歳までの青年たちに率いられた団体で、環境汚染や気候変動による人体や経済への影響を提唱し、環境保全の啓発活動を行っています。

### プロジェクト概要

科学的な調査、コミュニティの開発、GIS (ドローンによる空中写真) を組み合わせた包括的なアプローチを用いて、トゥルー・ドーズ地域に100 m<sup>2</sup>のマングローブを植林し、沿岸、海洋、湿地の資源を回復し、生物多様性を高めることを目的としています。

## Revey Twa

### 団体概要

島内南東部地域の社会的弱者を支援することを目的とした組織で、特に女性の社会進出に力点を置いています。

### プロジェクト概要

島内南東部地域で職を失った女性の再就職を支援するため、料理と裁縫の訓練を3-4か月間実施し、就職を支援しています。

Click to navigate

[退任する議長からのご挨拶](#) > 
 [新議長よりご挨拶](#) > 
 [運営委員会より一言](#) > 
 [第二次助成対象プロジェクト](#) > 
 [主な取り組みと出来事](#)

# 2023年 助成対象プロジェクト一覧



## Social Circus of Cite La Chaux

### 団体概要

シテ・ラ・ショーの社会的な弱者の社会参加のための支援を強化することを通じて、社会的経済的發展の実現に取り組んでいます。

### プロジェクト概要

シテ・ラ・ショーの子どもたちの安全で健康的な生活環境の整備を支援するため、放課後や週末に演劇や芸術活動などのワークショップを開催します。また、演劇関連の職業訓練を行い、子供を持つ若い親へ雇用の機会を創出することを目指します。



## Precious Plastic Mauritius

### 団体概要

環境保護とプラスチック廃棄物について、地域社会に情報を提供し、教育するために設立された組織で、プラスチック汚染、リサイクル、環境問題に取り組もうとする意識の醸成について住民に知らせるワークショップや活動を行っています。

### プロジェクト概要

循環型経済の発展を目指し、マヘブル地区でプラスチックごみ、缶、グラスなどを回収し、適切なリサイクルルートを通じて、ユニークで価値のある新製品を製造します。廃棄物の分別やリサイクルに関する勉強会やイベントを開催し、環境保護に対する意識を高めていきます。



## Mouvement Bien Etre de la Cite La Chaux (MBECC)

### 団体概要

マエブル地区の社会的に恵まれない立場にいる方々への福祉発展を目的とした教育支援団体。

### プロジェクト概要

シテ・ラ・ショー沖で漁業訓練のための漁船を購入し、地元の漁協を立ち上げます。協同組合による管理漁業を実現し、海洋資源の持続可能な利用に道を開きます。



## Porteurs D'images Organisation

### 団体概要

映画の上映、研修、映画制作、配給、映画教育活動を通じて、モーリシャスの映画文化、映画産業の発展を目指します。

### プロジェクト概要

マエブル地区周辺に住む若者や子供たちを対象に、毎週映画制作ワークショップを開催します。参加者は、フィクション、ドキュメンタリー、アニメーションそれぞれにおける映画制作の技術に触れ、実践する機会を提供します。プロジェクトの最後には、制作された映画をコミュニティで上映します。

Click to navigate

退任する議長からのご挨拶 > 新議長よりご挨拶 > 運営委員会より一言 > **第二次助成対象プロジェクト** > 主な取り組みと出来事

# 2023年 助成対象プロジェクト一覧



## Youth with Disabilities Empowerment Platform (YWDEP)

### 団体概要

様々な分野の研修を実施し、障がいを持つ若者の社会進出の強化を図るとともに、リサイクルを通じて安全で環境に優しい社会づくりや貧困撲滅に取り組む団体です。

### プロジェクト概要

織物、裁縫、手芸、絵画、籠細工、粘土工芸、園芸といった様々な分野での訓練を実施し、作品を販売しています。他のNGOと協力して廃棄物を収集し、販売するためのアップサイクルを行います。



## Mahebourg RCA School Parents Teachers Association

### 団体概要

生徒たちが他人に危害を与えたりせず、規律正しく、物理的、精神的、道徳的にバランスのとれた個人に成長することを支援する組織。

### プロジェクト概要

校舎外観を絵画にて改装していく予定です。



## La Chaux Mahebourg Academy Football Club

### 団体概要

青少年に、サッカーを通じ、多文化共生の実践を推進し、サッカー競技への参加や社会的活動、教育的活動により、非行防止に取り組むスポーツクラブ。

### プロジェクト概要

シテ・ラ・ショー地区の子供たちにサッカーの指導を行うと共に、サッカー用具の配布も継続します。



## Loreto College Mahebourg

### 団体概要

学生の知的、精神的、人間的な発達を支援することを目的とした教育機関。

### プロジェクト概要

学生への給食の配布、課外授業の実施、健康診断の実施、教育機器の寄贈などを行います。



Click to navigate

退任する議長からのご挨拶 > 新議長よりご挨拶 > 運営委員会より一言 > **第二次助成対象プロジェクト** > 主な取り組みと出来事



Pg 17



# 主な取り組みと出来事



# につぼん丸 モーリシャス寄港を振り返って

1月5日から8日にかけて、商船三井グループが誇る、日本の豪華客船の一隻がポートルイス港に寄港しました。商船三井と商船三井客船（商船三井の子会社）の保有船団の至宝、につぼん丸です。1990年就航、全長約170メートル、全幅約24メートルのこの権威ある客船は、他に類を見ない豪華さ、船内での数々のイベント、そして、並外れた世界各国の料理を取り入れた美食の数々で、世界中のクルーズ乗客から絶大な評価を得ています。につぼん丸の寄港を記念して、MOL (Mauritius)Ltd. は在モーリシャス日本国大使館との共催でポートルイス港にてレセプションを開催しました。会場には多くの賓客が列席しました。



Click to navigate

[退任する議長からのご挨拶](#) > [新議長よりご挨拶](#) > [運営委員会より一言](#) > [第二次助成対象プロジェクト](#) > [主な取り組みと出来事](#)



# The MOLチャリタブルトラスト MBCに出演



**MOL Charitable Trustは、モーリシャスにおける慈善活動と社会事業への貢献が評価され、モーリシャス放送協会のTipa Tipaプログラムにゲストとして招待されました。**

この番組は3月12日に放送され、基金の運営委員ダーメン・エラヤ氏とジミー・ハモン博士が出演し、インタビューを受けました。また、基金の2年目の公募にて選ばれたNGO、FALCONとBonheur Associé aux Enfants、二団体の代表者も出演しました。出演した基金の運営委員は、基金の理念、その目的、運営方法、様々なNGO間の相互援助と実践的支援のシステムを構築したいという目標について熱く、語りました。

出演したNGOの代表者たちは、彼らの団体とプロジェクトについて語ると共に、基金による取り組みの有効性が強調されました。基金の舞台裏に迫るプログラムについては、リンク先を参照してください  
(映像クレジット:モーリシャス放送協会)

<https://www.youtube.com/watch?v=ayzR2b1upO8>





**Contact us**

Address: Level 4, Alexandre House, 35 Cybercity, Ebene 72201, Mauritius

Phone: + 230 468-6257

Email: [mol\\_charitable\\_trust@molgroup.com](mailto:mol_charitable_trust@molgroup.com)